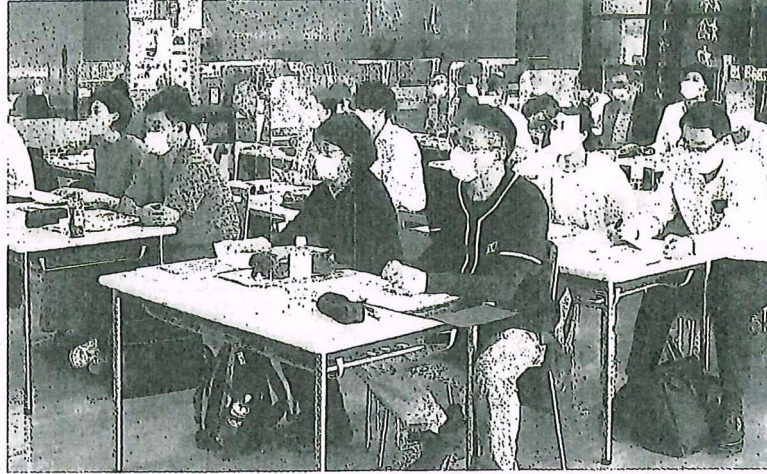


防災マイスターを目指して開講式に臨んだ受講者



## 緊急時の迅速対応学ぶ 防災リーダーへ養成講座

弘前

2022年度の弘前市防災マイスター育成講座が25日、市役所で開講した。初日は弘前大学大学院理工学研究科の片岡俊一教授が地震と津波による災害の特徴を紹介し、受講者たちが真剣な表情で聞き入った。受講者たちは今後、災害情報の活用方法や救急救命の方法など緊急時における対応を学び、地域の防災リーダーを目指す。

市は、11年の東日本大震災をきっかけに地域防災の必要性に注目し、防災リーダー養成のため12年度から講座を開始した。昨年度までに計371人がマイスターに認定され、今年度は31人が受講した。

講座は7月30日までに全15回を予定し、各回、弘前大学や青森地方気象台、弘前医療福祉大学などから講師を招く。講座の修了後は市から防災マイスターとして認定され、そのうち、希望者は日本防災士機構が認定する防災士試験を受験することができる。

開講式では、番場邦夫総務部長が「大規模な災害の際は消防や自衛隊による救助に時間がかかる。地域防災のためにも防災リーダーとして活躍することを願う」と激励した。(高田匠)

※この画像は当該ページに限って  
陸奥新報社が利用を許諾したものです。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

E-mail:r\_koho@hirosaki-u.ac.jp